

少しの工夫で、こんなに素敵な演奏に

# フレキシブル・シリーズ 楽譜活用法!

もっと自由に もっと楽しく それがフレキシブル・シリーズです

## 楽器の選択について

ひとつのPartに人数が集中しないよう均等に選択しましょう!

- ・同じ楽器に複数のメンバーがいる時は、Partをわけて演奏してみましょう
- ・低音パートを大切にすると、充実した響きがしますよ

もっと自由に工夫をしてみましょう!

- ・メロディを聞かせたい時、思い切って演奏の途中でメロディに加わることも可能です  
たとえばPart2でハーモニーを吹いている奏者が、途中からPart1の旋律を演奏しても大丈夫です
- ・リズムPartが多いと感じたら、お休みしてもOKです

チームのオリジナル演奏にチャレンジしてみよう!

- ・たとえば、リピートのある時、1回目は木管で演奏して、2回目は金管で、など  
色々な楽器の組み合わせを楽しむこともできます
- ・オプションの打楽器パートを加える場合、楽器選択の工夫で、全然違う演奏になりますよ

アンサンブルで演奏する場合は1Part=1人

- ・3Partの曲なら3人で、6Partの曲なら6人で演奏します（楽器の組み合わせは自由です）
- ・基本的にはPart1から音域の高い順に楽器を選ぶとよいでしょう
- ・楽譜に記載していない楽器で演奏する場合は、記載楽器に近い音域のものを選ぶと良いでしょう

※ご注意 楽譜に記載のない楽器でも演奏できますが、音やリズムの変更はできません。（オクターブの上げ下げはOKです）  
吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテストで演奏する場合は、主催する団体の規定に従ってください

## 演奏のバランスについて

自分たちの演奏を「スマホ」などで録音して聴いてみましょう!

- メロディが途切れずに続いて聞こえていますか
- 対旋律がメロディより大きくなっていませんか
- リズムパートや打楽器がうるさくなっていませんか